

平成26年度「経済的な困難を抱える子どもたちの学習支援活動助成」

助成先選考結果のご報告

平成26年度の「経済的な困難を抱える子どもたちの学習支援活動助成」につきまして、助成先が決定いたしましたので、ご報告いたします。

助成先団体及び対象となる事業 (50音順)

団体名	対象事業	助成金額
特定非営利活動法人 アスイク	経済的な困難を抱える不登校の子どもたちのためのフリースクール	2,000,000 円
特定非営利活動法人 いるかねっと	貧困連鎖解消のための福岡市西区無料学習支援	1,660,400 円
特定非営利活動法人 キッズドア	無料学習拡大継続のための基盤強化事業	2,000,000 円
特定非営利活動法人 シェイクハンズ	地域の学習支援室	1,900,000 円
特定非営利活動法人 仕事工房ポポロ	無償学習支援のネットワーク構築事業	2,000,000 円
特定非営利活動法人 国際教育支援機構 スマイリーフラワーズ	児童養護施設などの子どもたちを対象とした自立支援事業	705,600 円
北谷ユイマール塾	Heart of Earth「ニライのまちの志民塾」プロジェクト	1,280,000 円
特定非営利活動法人 場とつながりの研究センター	子どもの自己肯定感を育む「居場所」機能を持った寺子屋運営および人材育成事業	1,200,000 円
特定非営利活動法人 ビーンズふくしま	経済的困難世帯の子どもへの課外活動サポート事業	1,800,000 円
一般財団法人 ヒューマンライツ教育財団	高校中退者等の再チャレンジ支援事業	2,000,000 円
特定非営利活動法人 ホームレス自立支援 市川ガンバの会	子どもたちの未来を開く！ 教育支援事業	2,000,000 円
特定非営利活動法人 まちの塾フリービー	高校中退防止のための学習支援事業	1,000,000 円

【今回の助成について】

募集期間：平成26年12月25日～平成27年1月31日

助成金総額：20,000千円以内

応募数：85件

採択事業数：12件（計19,546千円）

助成対象となる活動期間：平成27年4月1日～平成28年3月31日

選考委員会：助成選考に際しては、本テーマに関して専門的知見を持つ4名の選考委員（当財団理事1名と社外有識者3名）で組織する選考委員会にて、当財団の助成目的に基づき、厳正な審査を行った。

今回の審査について、および助成先に期待すること・・・耳塚理事・選考委員長より

85件の応募事業から、厳正に審査を行い、12件を採択しました。

審査に際しては、助成の目的に沿っていることに加えて、いくつか考慮をしました。

第一に、一定程度の活動実績があり、組織基盤がしっかりしていること。基金は寄付から成り立っており、財団の設置趣旨に賛同してくださった多数の方々の志にほかなりませんので、助成金を正しく使用して、ぜひ助成対象事業の目標を達成していただきたいと考えたためです。ただしこの基準も度が過ぎると、可能性に富んだ、これから成長していく団体や事業を排除することになりかねません。上記のバランスをどう考えていくかは、当財団としての今後の課題と考えています。

第二に、助成終了後の事業の継続可能性です。助成によってスタートした事業が助成終了とともに終わってしまうのでは、なんのための助成かが問われます。理想的には、助成金は、スタッフの資質向上や、諸団体とのネットワーク構築などのような基盤強化や事業をさらに発展させていくための取り組みに使用していただくのがよいと思います。もちろん、新規事業のスタートアップ資金として利用されてもよいのですが、その場合には、事業の継続性の観点から、助成終了後の事業計画、ことに資金調達の見通しについて見通しが明確にされている必要があると思います。

助成金が有効に活用されて、経済的な困難を抱えた子どもたちの学習支援が少しでも進んでほしいというのが、審査にあたった委員一同の願いであり、今回の助成先団体の成果に期待しています。

助成団体からのメッセージ (五十音順)

特定非営利活動法人アスイク

<http://asuiku.org/>

経済的な困難を抱える不登校の子どもたちのためのフリースクール

助成先としてご選定いただき、心より感謝申し上げます。

今回私どもの団体では、経済的な困難を抱える不登校の子どもたちに向けたフリースクールを開設することになりました。生活保護などを受ける子どもたちの不登校率は、それ以外の子どもたちと比べて5倍近い発生率とされています。

さらに、不登校の背景に親子の関係性があり、家庭環境の複雑な状況を抱えた子どもたちも多く、より手厚い福祉的なサポートが必要な子どもたちも少なくありません。しかし民間のフリースクールには利用料が払えなくて参加できない子どももいます。そのような問題意識の元、今回のご案内を活用させていただきながら、経済的負担なく、通うことができるフリースクールを立ち上げていきたいと考えています。

Web などでも進捗を発信いたしますが、当団体の活動をお見守りいただければ幸いです。

特定非営利活動法人いるかねっと

<http://npoirukanet.web.fc2.com/>

貧困連鎖解消のための福岡市西区無料学習支援

私たちの事業を選んで頂き、誠にありがとうございます。
また、選考をされた財団事務局の皆様、選考委員の皆様、そして、助成金の原資となる基金に寄附を頂いた多くの方々に感謝を述べさせていただきます。
私たちNPO法人いるかねっとは、福岡市で市営団地の子どもたちを中心に地域の方々と無料学習会を行っています。

学習会を行ったきっかけは、僕が大学に進学するときに、僕の友人の多くが進学しないことに疑問を持ったことです。

疑問を持ってから数年後、マックス・ウエーバーの「プロテスタンティズムの倫理と資本主義の精神」という経済書を読んだ時に、その疑問が解けました。そして、今までの自分を恥じ、小学生・中学生の時に、僕よりも優秀だった友人が大学に進学しないのは、彼らのせいではない。そして、僕が大学進学できたのは僕自身の努力だけの問題ではない、と確信しました。

すべての子どもたちが通える無料学習会を行うことで、これからも少しずつ状況は変わってきています。

頂いた助成で子どもたちが、将来、自分の環境に夢をあきらめることなく自分の人生を切り拓けるように、この無料学習会「マナビバ」を運営していきたい、と考えています。

特定非営利活動法人キッズドア

<http://www.kidsdoor.net/>

無料学習拡大継続のための基盤強化事業

このたびは、キッズドアをご支援いただきありがとうございます。
キッズドアでは、2010年より、東京都内、また東日本大震災以降は宮城県でも無料学習会を運営しています。

2014年度は、大小あわせて30か所ほどで、継続的な学習会を運営しており、毎年200～300名の大学生が参加しています。
無料学習会を継続拡大するためには、学生ボランティアのスキルアップや広報が大変重要です。

本助成金をいただき、より多くの子どもたちに質の高い学習会が届けられるように、研修やwebサイト作成に使わせていただきます。ひとりでも多くの子どもたちの笑顔のために、これからもスタッフ、ボランティアが力をあわせて頑張りますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

特定非営利活動法人シェイクハンズ

<http://shake-hands.jp/>

地域の学習支援室

名誉ある第1回ベネッセこども基金の助成先として、決定していただき、大変ありがとうございます。

私どもシェイクハンズは、多文化共生社会づくりを目指し、活動しているNPO法人です。近年は、多様な背景を持つ子どもたちへの応援を中心とした活動に力を入れています。国籍や貧富、障がいの有無に関わらず、子どもは大切な社会の宝、地域全体で育てる事が必要と存じます。

皆さまのご支援で、多様な背景を持ちながら、法のセーフティネットに掛からない子ども達への学習支援が、平成27年度、より一層充実して実施できる運びとなりました。ひとり親家庭、外国籍家庭等と、経済的理由から私塾へ通えない子の学習支援をする事で、抱える困難の克服や学業成績の向上・進学、ひいては、将来の選択肢の広がり期待を持てます。

指導者・地域組織・学校などと一丸になって取り組んでまいります！

今後とも、子ども達に力強いエールをお願いいたします。

特定非営利活動法人 仕事工房ポポロ

<https://www.facebook.com/shigotopopolo>

無償学習支援のネットワーク構築事業

ご寄附及び採択、ありがとうございます。

ここ数年のうちに、経済的な困難を抱える子どもたちへの学習支援は全国各地で実施展開されるようになってきてはおりますが、どの団体も試行錯誤を繰り返しながら実施しているのが実情です。

当財団が位置する岐阜県（主に岐阜市周辺）でも、各種困難を抱えた子どもたちに対する無償学習支援が6ヵ所で展開されています。その実施団体相互で交流しながら、実践力を高めていけるよう日々努力をしておりますが、今回この助成金をいただいたことで、支援団体同士のネットワークをさらに広げ充実させていきたいと思っております。

これまでは、既存の団体同士の実践交流を続けていただけですが、この助成金を用いることで、団体横断的に実践に従事するスタッフが各現場の実践をフォローしながら、そこに蓄積されている成果・ノウハウや課題を整理しまとめるコーディネーター役となり、各現場の実践力をさらに高めていくとともに、新たに支援活動を始めたいという人たちのお手伝いをするのが可能になります。

また、一団体だけでは取り組みづらい社会体験イベントや市民啓発活動、担い手の募集などの活動をこの助成金を通じて行わせていただき、学習支援活動を今以上に充実・発展させていただければと思います。

以上のような活動を通じて、私たちは「地域で子どもを支える」ことが自然に位置づくような社会の構築に向けて邁進していきたいと思っております。みなさまのご理解・ご支援に改めて感謝申し上げますとともに、ぜひ今後とも、こうした地域づくりの取組への参与・ご協力をお願いしたいと思う次第です。

特定非営利活動法人 国際教育支援機構スマイリーフラワーズ

<http://www.smileyflowers.org/>

児童養護施設などの子どもたちを対象とした自立支援事業

当活動へのご支援を賜り心よりお礼申し上げます。児童養護施設に暮らす子どもたちが抱える課題や問題を知れば知るほど、自分たちだけでは到底解決し得ない問題であることを日々痛感しています。しかし、今回のご支援のように、多くの方が子どもたちの未来に関心を持ち、手を差し伸べてくださることに、大きな勇気と励みを頂くことができます。今後もひとりでも多くの子どもが未来に夢を描き、希望を持てる社会の実現を目指して、活動に取り組んでまいりたいと思います。引き続き皆様のお力添えをよろしくお願いいたします。

北谷ユイマール塾

Heart of Earth「ニライのまちの志民塾」プロジェクト

ハイサイ！ぐすーよー！（こんにちは、皆様）

沖縄県中部地域にある「北谷（ちゃたん）ユイマール塾」の井上聖です。この度は私たちのプロジェクトを助成事業として採択していただき、誠にありがとうございます。

私たちが住む沖縄ではいつの頃からか、海の彼方にある理想郷を「ニライ・カナイ」と呼ぶようになりました。その沖縄本島中部に位置する北谷町は極東最大の「嘉手納基地」に隣接し、いまだ町域面積の50パーセントを超える米軍基地を抱えています。離発着の際の耳をつんざくほどの騒音や頻発する米兵事件などの一方で、観覧車が聳える美浜地区には内外からの観光客が訪れます。そんなチャンプルの環境の中、こども・若者たちはたくましく日々を過ごしています。しかしながら、その若者たちの持つ無限の可能性を活かし切れない状況も事実です。

先日、2015年度より沖縄県全体で「こどもの貧困」実態調査が開始されるとの発表がありました。それ自体は大変喜ばしいことであります。しかしながら昨今の若者世代における「貧困」は、従来とは定義が変わりつつあり、経済面だけにとどまらない、「人間関係における貧困」＝生きる喜びや何かを成し遂げた達成感、見守られている安心感など、人が健全に成長していく上での基盤自体が崩れ、「つながり＝ユイ」が喪失しかけていることが要因の一つだと思われます。

学校現場での努力は勿論、生活保護世帯対象の無料塾や、乱立する学習塾、様々な学習教材など、学びの機会は一見多様化しているかに見えますが、若者たちの心の内側には、満たされない空洞が存在しているのを近年一層強く感じます。本来「まなぶ」ことは大きな喜びであるはずが、画一的・詰め込み的手法の蔓延、ステレオタイプな人間関係、若年層にまではびこる市場原理、メディアからの情報の氾濫などにより、学ぶ方向性を見失い、生きる意味すら忘れかけているのが実態ではないでしょうか。

この状態を放置することは無限の可能性を持った若者の将来のみならず、それぞれの地域、沖縄、そして日本を含めた東アジア全体にとっての大きな損失だと考えます。かつて沖縄に限らず、地域には、貧しいながらもお互いに助け合い、より良い明日を目指す希望が溢れていました。今こそ手を携え、ともに夢をはぐくみ、新たなふるさとをみんなの手で創り上げる時だと考えます。

私たちは、地元北谷をはじめ、沖縄、日本、世界中の志ある方々の協力により、経済的・家庭的・環境的要因などから「学びの機会」を十分に得られていない、全ての学ぶ意欲を持った受講生に対し、できるだけ負担の少ない形で自ら学び成長する機会を提供してまいります。単に教科書の内容にとどまらず、地域の皆さんや有志の方々との協働による、それぞれの志望をかたち創るきっかけとなるような講座やフィールドワークをともにすることで、一人一人の夢を実現していくための土台作りにも貢献し、地域社会の健全な発展に寄与していきます。

北谷町民憲章にはこのように書かれています。

「古えの人々が夢見た海の彼方の理想郷—ニライ・カナイ。古え人のこのロマンを、わたくしたちは現代の北谷町に花開かせ、「ニライの都市・北谷」としてこれからのまちづくりに励んでいきましょう。」

「ユイマール」とは「助け合い、支えあい」を意味する沖縄の言葉です。かつて私たちの祖先は、難破したインディアンオーク号（イギリス船籍）を救助、船員に食料や宿泊所他の物資を提供し、帰りの船まで建造しました。その業績は「航海史上の奇跡」とまで言われています。

「学ぶ喜びは 未来を切り拓く」

ベネッセこども基金において助成の原資を寄付して下さった皆様、スタッフや選考委員の方々にあらためて御礼を申し上げます。皆様はじめこの塾に関わる全ての人たちが真に豊かになれる「志の共同体」＝新しい時代のコミュニティを構築し、希望溢れる未来への扉をともに押し広げ、一人一人の晴れやかな心が指し示す方向へと、新しい航海を始めていきたいと心から願っています。

今後ともどうぞ宜しくお願い致します。

特定非営利活動法人 場とつながりの研究センター

<http://batotsunagari.net>

子どもの自己肯定感を育む「居場所」機能を持った寺子屋運営および人材育成事業

兵庫県三田市（さんだ。“みた”ではありません）は、かつて10年連続人口増加率日本一を記録するなど、大阪・神戸へのベッドタウンとしてのニュータウン地域と農山村地域を持つ自治体です。いわゆる「子どもの貧困」とは程遠い印象があるかもしれませんが、だからこそ、子どもをめぐるさまざまな課題が潜在化してしまう恐れもあると感じています。

子どもは家庭でも学校でもさまざまな「役割」を担っています。しかし、子どもにとって家庭が居心地良くないときや学校・クラスの中で窮屈な思いをしているときに、気持ちを発散させたり新しい関係が作れるような、これまでの役割を外せる場としての「第3の場所」を社会的に作っていく必要があると考えています。そこでさまざまな大人と出会うことで、「こんな生き方もいいんだな」と思ってくれることが第一歩。居場所をテーマにした寺子屋の運営やまなびの企画（理科実験、自然体験、国際交流など）を実施することで、まちの中でナナメのつながりが生まれ、子どもにとっての自己肯定感を地域で育てていく仕組み作りを目指したいと考えています。

また、三田はテーマが他市民活動だけでなく地縁団体、大学、まちの企業などの距離が近いことも特徴的です。中期的には、さまざまなセクターが力を合わせて子どもの課題解決に取り組めるネットワークを作っていきたいと考えています。みなさまのご支援よろしくお願いします。

特定非営利活動法人 ビーンズふくしま

<http://www.k5.dion.ne.jp/~beans-f/>

経済的困難世帯の子どもへの課外活動サポート事業

ビーンズふくしまは、不登校の子どもたちのフリースクール事業からスタートし、子ども・若者支援にこの15年間取り組んでまいりました。

取り組みの中で、経済的困難世帯の子どもたちに出会い、子どもたちのおかれている状況の中、いわゆる負のスパイラルから抜け出すことの困難さをも抱えている現状を目の当たりにしました。

子どもたちが本来持っている様々な力を、その子らしく出していくことができるように、ビーンズふくしまでは今回の事業を通して取り組んでまいります。

家族以外の人に出会い、家庭では体験できない経験をすることで、子どもたちがより視野を拡げ、自分の可能性を信じて、自分らしい歩みを進めていくことができるよう、支援していきたいと思っておりますので、どうぞよろしく願いいたします。

一般財団法人 ヒューマンライツ教育財団

<http://www.human-ref.jp/>

高校中退者等の再チャレンジ支援事業

この度は、当財団の学習支援事業をご採択いただき、誠にありがとうございます。
当財団は1993年の設立以来、大阪市西成区において、経済的困窮家庭の子どもに対する学力保障という課題に取り組むべく、小中学生を対象とした学習支援事業や進路保障事業など、各種事業を進めてまいりました。その過程の中で、中学校を卒業した年代、すなわち義務教育終了後の子どもの学力・進路保障という課題が見過ごされてきたのではないかという声、ここ数年、教育関係者からあがるようになり、今回新たにその課題に取り組むことになりました。

私たちの事業の対象児童である、高校を中退した若者、あるいは中卒後無業状態である若者は、生活困窮リスク、引きこもりリスクが非常に高い若者たちです。現在、行き場のない彼らに「居場所」となるフリースペースを無料開放し、そこで学習の遅れを取り戻したり、同年代の仲間と触れ合ったりすることで、自己肯定感を育み、同時に社会とのつながりを絶やさないようサポートすることが事業の目的です。新たにひきこもる若者を生み出さないためのセーフティネットとなることを目指します。本事業では、当財団だけでなく、地域の公立高校や公立中学校、就労支援施設等と連携し支援ネットワークを構築することで、参加者一人ひとりにとって最善のサポートを模索し、提供してまいります。

今年度は開始から2年目ということで、昨年度の成果と反省を活かしつつ、より充実した学習支援を行えるよう、いただいた助成金を有効に活用させていただきます。「未来ある子どもたちが、安心して学習に取り組める環境のもとで自ら可能性を広げられる社会」ーベネッセこども基金様の設立理念にも掲げられているように、一度学習生活をリタイヤした子どもでも再チャレンジできる社会、生まれ育った環境に関わらず自ら未来を切り開くためのチャンスを与えられる社会が理想であると考えております。その社会の実現に向けて、日々活動を進めてまいりますので、どうぞよろしくお願い申し上げます。

特定非営利活動法人 ホームレス自立支援市川ガンバの会

<http://ichikawaganba.fc2web.com/>

子どもたちの未来を開く！ 教育支援事業

このたびは当法人を採択してくださり、誠にありがとうございます。

私たちは 1997 年からホームレスをされている方々におにぎりを配る市民ボランティアから始まり、命と尊厳を守り、自立支援を行う目的で 2003 年に NPO を取得した団体です。多くの相談者と対峙する中で、貧困という問題に直面してきました。背景に低学歴ゆえ安定した就労に結びつかず、路上へと押し出された多くの方々を見てきました。また最近若者の相談が増加しており、ほとんどが低学歴です。家庭環境の問題等から十分な教育が受けられずに育った子どもたちが、次の世代にも同様の環境を引き継ぎ、それが代々悪循環となっている現状を見てきました。ホームレスの自立支援に加え、ホームレスを生み出さないための支援が必要と考え、「がんば夢塾」を開設いたしました。

この塾に通う条件はひとつ、「生活困窮家庭」であることです。子どもの未来は本来平等であるべきです。あらゆる子どもたちの未来を応援する塾を目指しています。様々な環境により授業についていけなくなった子どもたち、社会性や道徳観念等の問題を抱えた子どもたちも含め、すべての人に均等に幸せに暮らす機会を持ってほしいと願っています。

マンツーマンの学習支援に加え、校外学習やクリスマス会等たのしいイベントも企画したいと考えています。現在通塾中の 32 名の子どもたちの成長をボランティア講師の方々とスタッフ共に見守っていきます。
ありがとうございます。

特定非営利活動法人まちの塾フリービー

<http://www.freebee.cc/>

高校中退防止のための学習支援事業

この度は荣誉ある貴財団の活動助成に採択いただき、心より感謝申し上げます。私たち「NPO 法人まちの塾フリービー」は現在、東京都杉並区内において2ヶ所の無料学習支援教室を主宰しています。家庭の経済的な事情により塾に通えない、また小・中学校での不登校により学習に遅れが生じているなど、これまで能力や適性を十分に生かしきれなかった子どもに、自分の目標を見つけ、それに向かってチャレンジするやる気を育てると共に、社会生活を送る上で必要な基礎的・基本的学力を身につけることを目的として日々取り組んでいます。しかしながら現状は小・中学校時代の学習の遅れを抱えたままの高校生の多くは自立学習ができず、中退してしまうことも多々あります。この度助成を頂くことにより、高校入学後の子どもたちへの学習支援を継続的・計画的に展開し、中退を防止し、就労・進学へと結びつけることができると、たいへん有り難く思っています。また当教室では講師全員が退職教員や塾講師など、教育経験が豊富であり、高い知識と技術を生かして、きめ細やかに指導にあたっています。

私たちが学習支援に携わった子どもたちが将来、逆境にひるまず「自ら学ぶ」気概と行動力を持ち、困難に打ち勝つ勇気をもって人生を切り開いていけるように、また、周りの人たちへも暖かい心で接し、社会に貢献できる人材になるよう、より一層の支援を厚く強化していく所存です。